

特別支援教育マスター指標：

障害により教育上特別の支援を必要とする子どもへの対応について、身に付けるべき資質能力を3つの観点に分けて示した。

○ キャリアステージ別の指標

① 教諭・養護教諭・栄養教諭（主幹教諭、指導教諭は深化期の資質能力が必要）

キャリアステージ 観点	基礎期 基本的な知識・技能習得 （目安：1～6年目）	発展期 自己研鑽意欲・専門性向上 （目安：7～20年目）	深化期 多様で豊富な経験の発信 （目安：21年目～）
子供理解力 （観察やアセスメントに基づく実態把握）	障害による困難さについて、先輩教員の助言等を参考に理解する。	障害による困難さについて、多方面からの情報を収集しながら総合的に理解する。	障害による困難さについて、確かな理解力と経験を生かし、他の教員に適切に助言できる。
学習指導力 （指導目標、内容、方法の設定）	支援の在り方について基本的な知識や技能を身に付ける。	専門的な知識や技能を高めながら、集団の中での個に応じた支援ができる。	豊富な経験を生かしながら、適切な支援の在り方を他の教員に提案できる。
参画・協働力 （関係者と連携しながら行動する力）	保護者や関係機関との連携の大切さを理解し、管理職や先輩教員と相談しながら連携を進める。	保護者や関係機関と積極的に連携するとともに、協働的な支援チームの一員としての役割を果たす。	保護者や関係機関と共に情報共有を図りながら、協働体制づくりにおいてリーダーシップを発揮する。